

支えあう街

発行責任者 鶴ヶ谷地区社会福祉協議会

会 長 木津谷 恭規

鶴ヶ谷地区の町内会の皆様、福祉に関わる各団体の皆様、日ごろ鶴ヶ谷地区社会福祉協議会の事業にご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、昨年まで猛威を振るった「新型コロナウイルス」もやっと下火となり、日常が戻りつつあります。

一方、世界的にはロシアのウクライナ侵攻等に起因する物価の高騰や、加えてイスラエルのガザ地区への一方的な攻撃等の報道によって世界全体に暗い影を落としています。

国内では新年早々の能登半島を震源とする地震による甚大な被害や航空機事故など多難な幕開けとなってしまいました。明るい話題は“大谷さ～ん”くらいでしょうか。早く世界が平和になることを祈念するものです。

鶴ヶ谷地区社協に於いては、町内会の皆様や福祉委員の皆様が、日々高齢者の方々の見守り活動を、続けていただいておりますことに心より感謝申し上げます。見守りの中で、ちょっとした気づき(新聞や郵便受けがいっぱい・日中電気がつきっぱなし等々)が重要な事故を未然に防ぐことができると思っています。

今年も、地域住民の皆様や、高齢者の方々が安心・安全で平穏な生活を送り、また、楽しく過ごしてもらえよう、微力ながら鶴ヶ谷地区社協も両民児協や包括支援センター及び各福祉団体の方々と連携し、楽しい企画(鶴っこサロン等)を考えていきたいと思います。そして、個々を尊重する豊かな鶴ヶ谷でありますようお願い申し上げます。

今後とも更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

地域づくりの拠点として

向こう三軒両隣



最初に、令和6年1月1日に発生いたしました「能登半島地震」により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さま、そのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、昨年5月から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行したこともあり、市民センター事業についても昨年は、この間停滞を余儀なくされた地域の交流や活動が本格的に再始動する年となりました。特に市民センターまつりでは、模擬店での飲食再開、子ども向けのアトラクション、近隣の学校関係の出演もあり、昨年を大きく上回る約千四百名の来場をいただき、地域における交流と活性化の機会となりました。

令和6年度も、市民センターが多くの市民参画を得ながら、地域づくりの拠点として機能し続けるために、地域交流の「きっかけ」をつくり、「仕掛け」「働きかけ」を行い、地域住民の皆様や地域の諸団体等と協働して事業を展開して参ります。

仙台市鶴ヶ谷市民センター

館長 今野 義則

令和5年度 福祉委員全体研修会

11月25日(土) 鶴ヶ谷市民センターにおいて、鶴ヶ谷地区福祉委員全体研修会を71名の参加者により開催しました。研修会では、『最近の詐欺の特徴について』をテーマに鶴ヶ谷交番 畠山 功 所長様、東警察署 木伏 俊介 巡査長様による講演が行われました。

最近の詐欺の特徴は「未納料金の請求」や「損害賠償」の名目で、電子マネー利用権や現金をだまし取られる詐欺電話が急増中とのことです。対策としては「知らない番号に絶対でない」・「即断せず必ず家族や警察に相談してほしい」とのことでした。

また、令和5年10月末現在の宮城県特殊詐欺被害状況について説明をいただき、「架空料金詐欺」・「還付金詐欺」・「オレオレ詐欺」・「詐欺盗(カード)」が多く発生しており注意が必要です。

講演の後、ミュージックベルグループ『cara★cara』によるベル演奏が行われ、女性3人が1人10個ほどのベル



を巧みに操る音色に堪能しました。

特殊詐欺防止の講演とミュージックベル演奏により、大変有意義で楽しい研修会になりました。

「鶴っこサロン」

令和5年度より鶴ヶ谷地区社会福祉協議会主催で「鶴っこサロン」を開催する事になりました。第1回目10月7日に、2丁目福祉センターで開催いたしました。市営住宅通路をお借りして喫茶コーナーを設け、秋空の下、楽しい一時を過ごしました。室内では仙台ボランティアセンターの協力でダーツゲームを行い皆さん大盛り上がりでした。成績優秀者には賞状も授与されました。又、包括支援センターによる血圧測定コーナーも開催しました。これからも、さまざまな場所で楽しい企画を考えて開催を予定しています。お気軽にお出かけ下さい。お待ちしております。



鶴ヶ谷市民センターまつり

10月28日(土) 鶴ヶ谷市民センターまつりが、ステージ15団体・展示16団体・模擬店8団体・協力3団体にて開催されました。

当、鶴ヶ谷社会福祉協議会も、無料でコーヒーを提供致しました。約1,400名の入場者に対し、約500杯の提供となりました。コロナ5類になりましたが、今年こそは従来のスタイルになることを願っております。



いきいきサロン活動・つるがやあいあいくらぶ

つるがやあいあいくらぶは、平成22年4月に活動を開始し、和気藹藹(わきあいあい…和やかで楽しい気分が満ちている)を目的としてグループ名にしました。日々元気で生活するためには適度な運動は欠かせませんが、しかしながら一人では長続きしません。地域の住民が楽しみながら集まろうとの思いで始めました。コロナ禍で集まるのがなかなか難しいですが、最近では内容を工夫して活動しております。出来るだけ身体を動かし、動かすことで食欲が出て、食べることで筋肉を維持できます。そのことがフレイル(虚弱)予防につながります。シニア世代がずっと元気であるために、いつもと違う点に気づいたら声をかける、抱え込まずに相談機関へつなげ、その後寄り添い見守る。



孤立せずに元気に過ごし、社会とつながる介護予防サロンを目指していきます。

受賞おめでとうございます

地域の福祉活動を積極的に推進し貢献された方々が表彰されました。

宮城県共同募金会より会長表彰

三嶋 武 様

仙台市共同募金委員会より会長表彰

佐藤 正尚 様 中津川 幸三 様 渡邊 恵子 様

令和5年度 主な活動内容

5月1日 定期評議員会
議案書郵送 書面表決にて承認
5月29日 新任福祉委員研修会(21名)
6月21日 各種団体へ助成金交付(5団体)
7月1日 町内会長会議(社協会費納入説明)
9/21 1,638,000円市社協へ納入
9月6日 上期コーディネーター会議
9月30日 共同募金納入説明会
12/14 1,305,449円共同募金会へ納入
10月28日 鶴ヶ谷市民センターまつりに参加

11月25日 福祉委員全体研修会(71名参加)
2月27日 下期コーディネーター会議
4月～3月
①常任理事会 11回
②二役会 11回(オンライン含む)
③役員会 3回
④小地域福祉ネットワーク活動
社協サロン「鶴つこサロン」開催(今年4回開催)
各該当町内会 いきいきサロン・交流会の開催
⑤社協関係書類の整理及びLSA室の整備(50周年事業)

鶴ヶ谷地区社会福祉協議会は、明るく住みよい町づくりのためにみなさまの協力をいただきながら、地区内のさまざまな福祉活動を行っています。



令和5年度 鶴ヶ谷地区社会福祉協議会特別賛助会員名簿

(順不同・敬称略)

一丁目 西	・長澤憲康・菊地 稔・堀田寿一・瀬戸康夫・木村 昭・阿部正祐
二丁目 中央	・庄子能永・横澤行夫・鈴木武志・勝又鈴子
二丁目 西	・葦澤克明・作間 洋・福田良宏
三 丁目	・寺田正恵
四 丁目	・水戸 烈・和山正次郎
四丁目 東	・谷津茂徳・飯田勝男・飯田勝志・曾根忠夫・安彦進一・中村 仁・中村英二・中村紀代 ・村井韶子・内藤秀夫・本堂郁郎・笹井 収・高橋 勲・佐藤 敬・渡辺衣子
鶴ヶ谷 北	・渡部 剛・佐藤和夫・佐藤千代・大方高志・渡邊恵子・糸井仁之助・伊藤かよ子
五丁目 団地	・佐藤正尚・板橋俊穂・館下加代子・中津川美佐子・中津川幸三
六丁目 中央	・山本良子・高野悦子・若木保三・千坂タエ子・滝田美代子・内海恵子・松谷幸男
六丁目 睦会	・竹内敦子
六丁目 北	・千葉良雄・大和ひろみ・福田寿子
六丁目 東	・阿部喜子・佐藤泰彦・大沼宣子・中村和道・遠藤幸政・田崎道子・首藤恵治・菅野一江・松本泰伊
七丁目 南区	・櫻井優子・千葉昭吉・桐ヶ窪謙一・桐ヶ窪かめよ・安東光雄・伊藤信一・関 智之
七丁目 北区	・主藤克郎・柏原信義・浅野昭子・秋葉辰雄・佐々木照明・菊地新喜・阿部 達・松元弘子 ・佐藤栄男・植村暢子・佐藤健一・佐竹和子・千葉忠司・伊藤とよ子・遠藤 博・坪井 敏 ・熊谷京子・西塚紀恵・大越敏男・佐竹眞義・菅原幸也・萩原鉄雄・金井和子・芳賀智嘉子
八 丁目	・相原勝雄・赤間正弘・遠藤義昭・阿部眞伍・阿部竹子・伊藤公二・伊藤紀男・下山田幸子 ・浦山郁夫・大久保昌武・渡部喜志雄・川井一男・北舘静子・久米正彦・高橋澄子・境 喜代子 ・佐竹順子・佐藤晃郎・遊佐秀行・管澤信一・菅原雄孝・菅原眞吾・菅原タケ・渡邊敏行・升谷 浩 ・三浦 智・匿 名
鶴ヶ谷	・横田しげ子・横田由美子・横田洋子
東民児協	・三品恵一・佐々木一之・三嶋 武・鈴木里美・橋元節子・菅野茂雄・眞壁弘子・寺島多恵子 ・菅原良子・赤間園子・木津谷恭規・山田順子・相澤秋夫・穴戸淳子・阿部喜子・若松由美
西民児協	・横田孝子・東海林廣子・遠谷優子・菅野智子・菅田百合子・會田敦子・佐々木信子・川村要子 ・川村正道・飯田由民子・高阪悦子・設楽秀悦・佐藤文緒・北村志保子・菅泉卓樹・門間尚子 ・菱沼ゆう

会員の種類と会費(普通会員 300円以上・特別賛助会員 1,000円以上)

ご協力いただきました会費は、仙台市社会福祉協議会の福祉事業費のほか、5割相当額がおすまいの鶴ヶ谷地区社会福祉協議会に助成され、地域の福祉活動を支える大切な財源となっています。ありがとうございました。



コロナ感染症が緩和され、地域行事や福祉活動も少しずつ戻りつつあるようです。家から一歩出て皆と交流することが大切だと思います。社協主催の「鶴っこサロン」も、そのひとつです。皆さまの参加お待ち致しております。